

令和6年度神奈川県救急医療功労者表彰 受賞者功績一覧

計12名（団体4、個人8）

◇名称・氏名（所在地・主な活動地域）（敬称略）

がっこうほうじんしょうわだいがく しょうわだいがくよこはましほくぶびょういん ◇ 学校法人昭和大学 昭和大学横浜市北部病院 （横浜市都筑区）
平成22年から横浜市の二次救急拠点病院Aとして、重症患者も積極的に受け入れ、地域中核病院として地域の救急医療に貢献した。

いりょうほうじんしゃだんさんせいかい しんゆりがおかそうごうびょういん ◇ 医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院 （川崎市麻生区）
平成24年の開設以来、初期・二次救急医療を行い、川崎市北部地域の中核病院として地域の救急医療に貢献した。

いりょうほうじんしゃだんこうじんかい はたのこうせいびょういん ◇ 医療法人社団厚仁会 秦野厚生病院 （秦野市）
平成4年から神奈川県精神科病院協会救急輪番制事業に参加するとともに、平成17年に精神科急性期治療病棟を開設し、措置入院患者を積極的・継続的に受け入れ、精神科救急医療に貢献した。

いりょうほうじんしのはらしょうなんくりにつく くろーばーほすびたる ◇ 医療法人篠原湘南クリニック クローバーホスピタル （藤沢市）
平成16年の開設以来、在宅診療のかかりつけの居宅及び施設患者の救急対応を行うとともに、令和4年度からは、病院群輪番制事業にも参加し、地域の救急医療に貢献した。

かわさき よしひさ ◇ 川崎 順久 （横浜市神奈川区）
平成2年に横浜市神奈川区の医療法人社団川崎耳鼻咽喉科クリニックに院長として勤務して以来、地域医療に貢献した。また、神奈川区休日急患診療所の協力医として、平成3年から地域の休日初期救急診療に貢献した。

しみず しんいち ◇ 清水 眞一 （横浜市港北区）
平成12年に横浜市港北区の医療法人社団清水医院に院長として勤務して以来、地域医療に貢献した。また、港北区休日急患診療所の協力医として、平成13年から地域の休日初期救急診療に貢献した。

えぐち かずひこ ◇ 江口 一彦 （横浜市栄区）
平成5年に横浜市栄区の医療法人社団江口医院に勤務して以来、地域医療に貢献した。また、栄区休日急患診療所の協力医として、平成5年から地域の休日初期救急診療に貢献した。

あらい ただし ◇ 新井 理之 （川崎市川崎区）
平成20年に川崎市川崎区に東扇島診療所を開業して以来、地域医療に貢献した。また、川崎市休日急患診療所の出動医として、平成22年から地域の休日初期救急診療に貢献した。さらに、平成26年から令和5年まで川崎市医師会の役員を務め、コロナ禍においては救急担当副会長として、川崎市休日急患診療所での検査体制の確立等に尽力した。

うめざわ しんいち ◇ 梅澤 慎一 （相模原市中央区）
平成14年に相模原市中央区にうめざわクリニックを開業して以来、相模原市休日夜間急病診療事業に積極的に協力し、地域の休日初期救急診療に貢献した。また、平成27年から相模原市医師会役員として、初期救急を担う市内4か所のメディカルセンター急病診療所の運営に携わり、地域の救急体制の整備、充実に尽力した。

やまがみ ひろし ◇ 山上 浩 （鎌倉市）
平成18年から鎌倉市の医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院救急総合診療科に勤務し、平成30年からは救命救急センター長として、救急医療業務に従事し、地域の救急医療に貢献した。

みずしま まさこ ◇ 水嶋 雅子 （逗子市）
平成16年に逗子市の水嶋医院に勤務して以来、地域医療に貢献した。また、平成16年から公益財団法人逗葉地域医療センター休日・夜間急患診療室において、休・祝日日直や夜間当直に従事し、地域の初期救急医療に貢献した。

いけだ あきこ ◇ 池田 明子 （海老名市）
一般社団法人日本救急救命士協会副会長を平成25年から令和6年5月まで務めるとともに、救急医療に関する専門的教育に携わるなど、救急救命士と救急医療の質の向上に貢献した。また、海老名市の社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院に勤務し、コロナ禍においては、病院救急車を利用した転院搬送等の業務に従事し、地域の救急医療に貢献した。